

# 情報処理学会 IoT行動変容学研究グループ

## 第6回研究会 (BTI6)



■URL : <http://www.sig-bti.jp/> / Twitter : [@ipsjbt](https://twitter.com/ipsjbt)

■日程 : 2023年12月22日(金) 10:45~17:30  
(10:00~ 受付・開場)

■開催場所 : 東京大学大学院情報学環  
ダイワユビキタス学術研究館  
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1  
地下本郷三丁目駅徒歩5分  
アクセス: [https://webpark5033.sakura.ne.jp/wp8/?page\\_id=52](https://webpark5033.sakura.ne.jp/wp8/?page_id=52)

### ◆ プログラム

□10:00~ 受付

□10:45~11:00 オープニング / 主催者ご挨拶

□11:00~12:30 一般発表 1 (発表 12分、質疑 5分、交代 1分)

- 11:00-11:17 従業員の主体的な業務行動を促進するアプリ開発
- 11:18-11:35 プレゼンティーズム改善に向けたスクリーンセーバを用いた体調可視化システムの検討と基礎評価
- 11:36-11:53 妊産婦を対象にIoTを活用した歩行行動の変容—Be-TWINKLE studyより—
- 11:54-12:11 Assessing changes in stress levels through competitive gamification of a time management focus technique
- 12:12-12:29 歩行習慣の動機づけのための行動変容を促すアプリケーション StepUpSyncの設計 / Design of a behavior change application to motivate walking habits application: StepUpSync

□12:30~13:30 お昼休憩

□13:30~15:00 一般発表 2 (発表 12分、質疑 5分、交代 1分)

- 13:30-13:47 向社会的なネットワーク利用を説得的に促す公衆Wi-Fiの設計と実装
- 13:48-14:05 ScaleCity : 透明な3次元都市模型を用いた都市データのVisualization
- 14:06-14:23 ウォークアブルシティの歩行空間設計に向けた市民の合意形成のための歩行者シミュレーション
- 14:24-14:41 製造業におけるDX対象の特定と推進のためのDXロードマッピングフレームワークの開発
- 14:42-14:59 分散型多人数教育におけるコミュニケーションの困難さに対する非言語情報獲得技術の適用

□15:00~15:15 休憩・移動

□15:15~16:35 Poster/demoセッション (90分)

- DP1. 視線・運動機能からみた英語書字のぎこちなさ
- DP2. スマートフォン内蔵センサによるWBGT ラベル推定
- DP3. 環境センシングとバイタルデータ分析による熱中症リスク推定
- DP4. Stable diffusionを用いた休憩促進システムの提案
- DP5. 行動変容システムの誤動作による不信感に対する寛容性醸成のための擬人化に関する研究
- DP6. 衝動買いを抑止するシステムの検証
- DP7. 要介護者と複数介護者をつなぐIoT型サブパットのセンサ実験及び評価
- DP8. 水平方向の変動性からみた書き困難の定量的評価

□16:35~16:50 休憩・移動

□16:50~17:20 企業セッション

- 16:50- 17:05 日立製作所 (ご講演: 佐々木真美様)
- 17:05- 17:20 ZOZO Research (ご講演: 斎藤侑輝様)

□17:20~17:30 クロージング / 主査ご挨拶